

指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の将来のあり方に関する検討会議  
沿線地域の高校生とのワークショップ

次 第

日時：令和6年10月28日（火）13:00～

場所：指宿市役所山川庁舎

1 開 会

2 挨拶

3 指宿枕崎線の将来のあり方の検討に至る背景 等

4 ビデオレター及び講演

5 ワークショップ

（1）ワークショップを進めるに当たって  
（2）セッション  
（3）まとめ

6 その他

7 閉 会

指宿枕崎線（指宿枕崎間）の将来のあり方に関する検討会議  
沿線地域の高校生とのワークショップ 出席者名簿

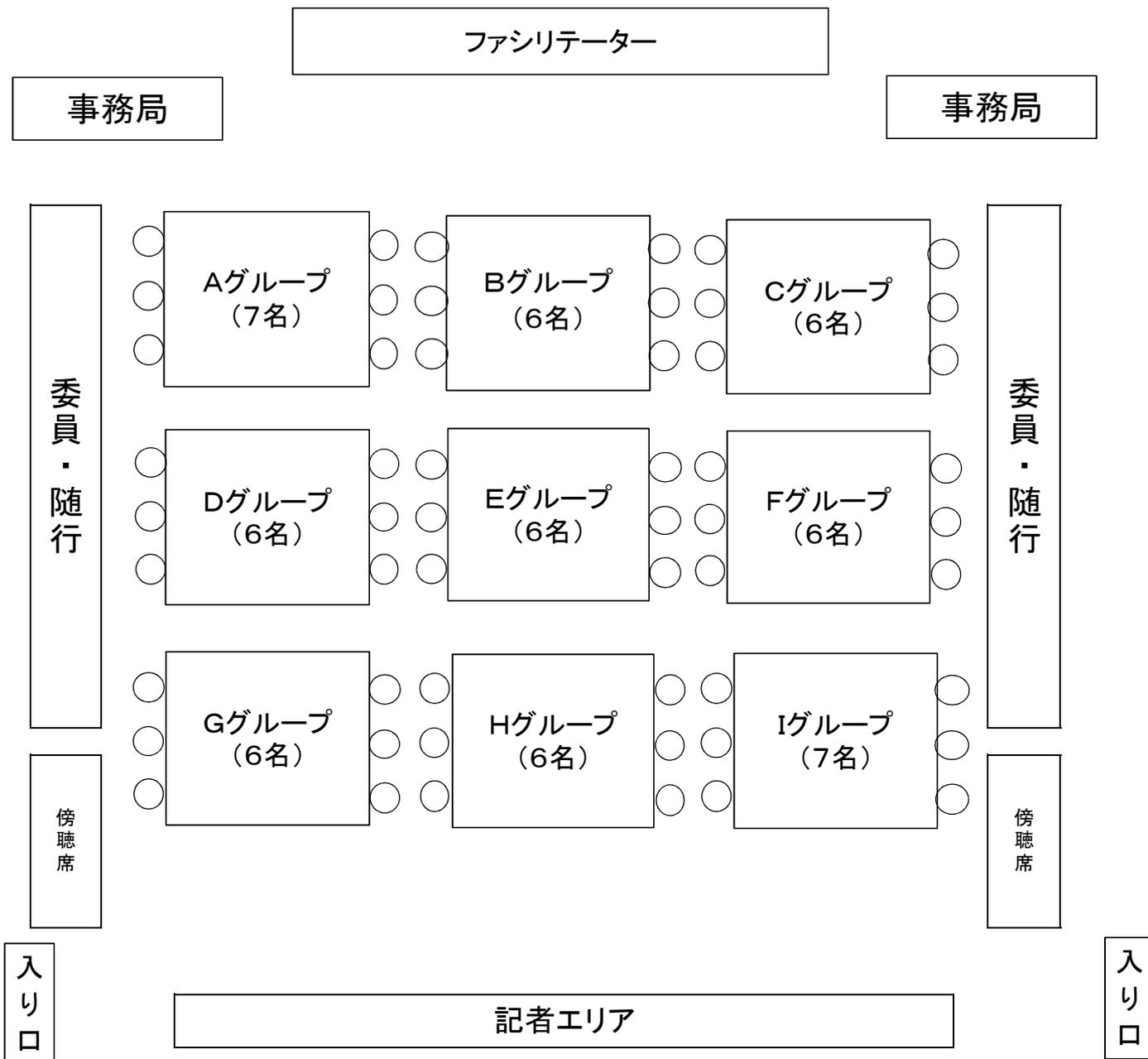
（敬称略）

No	高等学校名	学年	氏 名	グループ
1	山川高等学校	3	飯野 はな	A
2	山川高等学校	3	今林 愛里	A
3	山川高等学校	3	今村 有利	B
4	山川高等学校	3	岩留 彩華	B
5	山川高等学校	3	内田 夏葵	C
6	山川高等学校	3	小川 晃志郎	C
7	山川高等学校	3	川口 愛莉	D
8	山川高等学校	3	川邊 光	D
9	山川高等学校	3	新留 蓮	E
10	山川高等学校	3	須賀 愛梨	E
11	山川高等学校	3	谷口 愛奈	F
12	山川高等学校	3	永井 玲奈	F
13	山川高等学校	3	永田 美海	G
14	山川高等学校	3	中屋敷 みらい	G
15	山川高等学校	3	奈良 茂花	H
16	山川高等学校	3	濱田 紅葉	I
17	山川高等学校	3	古殿 希颯	I
18	山川高等学校	3	松元 麻優	A
19	山川高等学校	3	丸岡 夢楽	E
20	山川高等学校	3	吉山 騎士	I
21	頴娃高等学校	3	川畑 海	A
22	頴娃高等学校	3	中村 玲雄	H
23	鹿児島水産高等学校	2	鶴留 拓実	A
24	鹿児島水産高等学校	3	原 隆太	B
25	鹿児島水産高等学校	3	中村 聖琉	C
26	鹿児島水産高等学校	3	中野 文也	D
27	鹿児島水産高等学校	3	古市 藍	E
28	鹿児島水産高等学校	3	尾野 響	F

No	高等学校名	学年	氏 名	グループ
29	鹿児島水産高等学校	2	石田 晴輝	G
30	鹿児島水産高等学校	2	田崎 翔大	H
31	鹿児島水産高等学校	2	中間 陽駿	I
32	枕崎高等学校	1	上園 菜子	A
33	枕崎高等学校	1	白澤 晴音	B
34	枕崎高等学校	1	水流 野乃果	C
35	枕崎高等学校	1	永手 紗織	D
36	枕崎高等学校	1	松崎 京音	E
37	枕崎高等学校	1	宿里 美琴	F
38	枕崎高等学校	3	福崎 悠平	G
39	枕崎高等学校	3	折田 勝	H
40	枕崎高等学校	3	濱崎 颯太	I
41	枕崎高等学校	3	上園 幸菜	B
42	枕崎高等学校	3	中村 菜々笑	I
43	枕崎高等学校	3	前田 花海	F
44	枕崎高等学校	3	猪谷 優花	G
45	指宿高等学校	3	南 秀享	B
46	指宿高等学校	2	五十嵐 侑吏	C
47	指宿高等学校	2	池平 雪乃佳	D
48	指宿高等学校	2	中原 凜子	E
49	指宿高等学校	2	松本 彩里	I
50	指宿商業高等学校	2	徳 永 莓 花	A
51	指宿商業高等学校	2	牧之瀬 萌 奏	D
52	指宿商業高等学校	2	前 川 瑠 生	F
53	指宿商業高等学校	3	米 満 真 悠	G
54	指宿商業高等学校	3	奥 田 香 朋	H
55	指宿商業高等学校	3	西 留 ゆ な	C

# 指宿枕崎線(指宿・枕崎間)の将来のあり方に関する検討会議

## 沿線地域の高校生とのワークショップ 配席図



## 指宿枕崎線の将来のあり方の検討に至る背景・経緯

### ○ 指宿枕崎線の現状

指宿枕崎線（指宿・枕崎間）は地域に不可欠な公共交通手段であるとともに、地域づくりや観光の振興等にも貢献する貴重な資産。

一方で、人口減少、少子化の更なる進行等に伴い、鉄道の利用者は年々減少傾向。

### 平均通過人員の推移



### ○ 将来のあり方に向けた対応

このような状況のもと、昨年11月末に九州旅客鉄道(株)社長から「将来のあり方について地域と一緒に未来志向で議論を行っていききたい」旨の発言がなされ、県・沿線市、九州旅客鉄道(株)の関係者において、担当レベルでの勉強会を重ね、本年8月に指宿枕崎線の将来のあり方を検討することを目的として、県、沿線市、JR九州、有識者で構成する検討会議を設置し、第1回検討会議を開催。

検討会議では、沿線人口の将来を考えると、生活交通需要のみでは限界であり、「鉄道」というアセットを活用して地域が稼ぎ出すことができ、その結果、地域の足も確保するという発想があっても良いのではないかなどの提案もあり、第1回検討会議の方向性として、

- ① 観光客等の外部需要の取り込みをはじめとする利用促進策
- ② 路線を活かした地域づくり等について検討し、鉄道の可能性を追求していくといった方針を決定したところ。

これらの方針のもと、地域づくりには、地域を現に担っている方々や将来を担っていく方々とも一緒になって考え、意見を交わしながら、行政や民間企業、住民などが連携して、地域の可能性を探り、方向性を見いだしていくことが必要であると考え、今回、ワークショップの開催に至ったもの。

商工等関係者とのワークショップは、去る10月8日に開催し、地域や鉄道の魅力、価値などを共有・認識し、引き続き、ワークショップを開催していくことを確認したところである。

指宿枕崎線（指宿・枕崎間）の将来のあり方に検討会議

高校生の皆様とのワークショップ

# 自己紹介

## 神田 佑亮 (かんだ ゆうすけ)

- 1977 広島県 庄原市 (東城町) 生まれ
- 1999 広島大学工学部 第4類 (建設系) 卒業
- 2001 広島大学大学院国際協力研究科 修了
- 2001- 株式会社オリエンタルコンサルタンツ  
(交通・まちづくり系エンジニア+経営企画室・新規事業開発担当)
- -2005 政策研究大学院大学 修了
- 2012- 京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻 助教 (2013- 准教授)
- 2017- 呉工業高等専門学校 環境都市工学分野 教授 (現在に至る)
- 2018- 広島大学 防災・減災研究センター 客員研究員 (現在に至る)



## 専門

- 交通政策論・交通計画・土木計画 (特に, モビリティ・マネジメント、交通リスク論、災害時交通マネジメント論)

## 委員会活動・行政のアドバイザー等

- 一般社団法人JCoMaaS 理事
- 日本モビリティ・マネジメント会議実行委員会 幹事長
- 国土交通省道路局 バスタプロジェクト推進検討会 委員
- 国土交通省総合政策局 交通分野におけるデータ連携の高度化に向けた検討会
- 国土交通省 国土審議会地域生活圏専門委員会
- 国土交通省総合政策局 アフターコロナに向けた地域交通の「リ・デザイン」有識者検討会
- 国土交通省 交通政策審議会地域公共交通部会 臨時委員
- 国土交通省中国運輸局 芸備線再構築協議会 構成員
- 鹿児島県 指宿枕崎線の将来のあり方に関する検討会議 委員

ほか

地域交通を考えることと  
なったきっかけ



芸備線・東城駅



10月4日(水)

発行所  
広島市中区土橋町7番1号  
〒730-8677

中国新聞社  
電話(082)236-2111(受付案内台)

中国新聞デジタル  
<https://www.chugoku-np.co.jp/>

購読・試し読みは  
0120-492-506

急ぐ。解  
内閣支  
岸田  
むチム  
創立10  
ドラ

芸備線備後庄原―備中神代間

# JR西、再構築協を要請 存廃協議巡り全国初

JR西日本は3日、利用が低迷するJR芸備線備後庄原―備中神代間(68・5キロ)の存廃を沿線自治体と話し合うため、再構築協議会の設置を国に要請した。再構築協議会は、ローカル線の存廃協議を進める目的で国が今月から導入した新制度で、設置要請は全国で初めて(24・25面に関連記事)。

(編集委員・荒木紀實)

JR西の担当者が国土交通省の中国運輸局(広島市中区)に書面を提出。要請の理由を「人口減や少子高齢化、道路整備で利用が大きく減少している。移動ニーズに適した持続可能な交通体系の実現へ、地域の皆さまと議論することが必要」と記述している。

運輸局が今後、広島、岡山両県と庄原、新見両市に意見を聞き、協議会設置の是非などを判断する。意見聴取について広島県の湯崎英彦知事は「沿線市と協議し、対応

## 鉄路の あす

JRが再構築協議会の設置を国に要請した区間



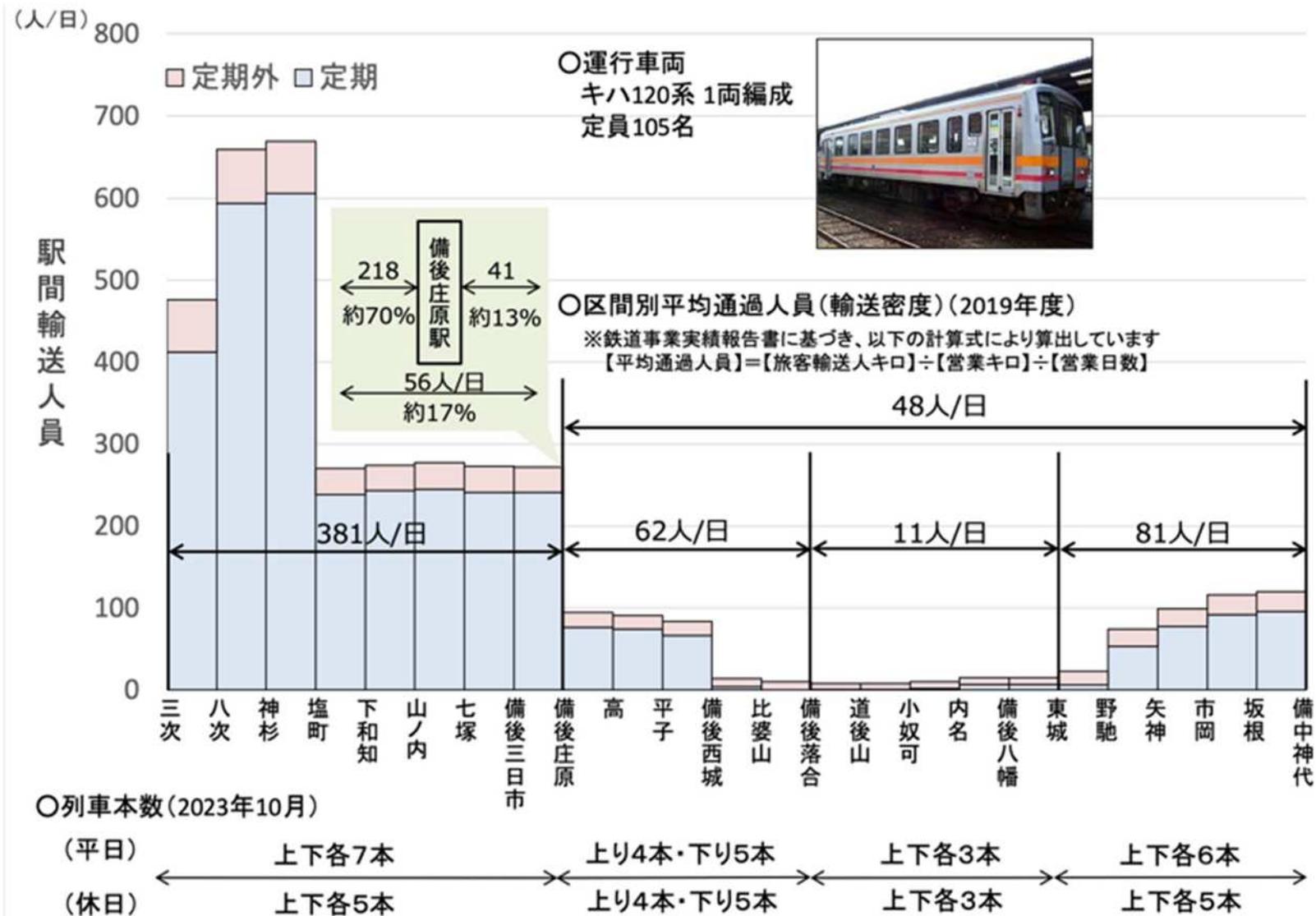
芸備線を巡って今後予想される流れ



JR西日本が再構築協議会の設置を要請した芸備線備後庄原―備中神代間を走る車両(庄原市東城町)



# 芸備線の利用状況



(JR西日本資料)

# 個人と地域交通の関わり

- 小学生高学年～中学生の時には、地域交通があったので、子どもだけで公共交通でスキーに行くことができた
- 高校の時には寮生活であったが（自宅から高校まで100km離れていた）、地域交通が幹線鉄道に接続していたので、夏休みの間は部活動のために家から通うことができた
- 就職して東京に暮らしていたが、新幹線と特急と乗り継いで、帰省することができた
- これらの効果は、「鉄道の運賃」では測れない価値があるように思う

# ある事例の計算イメージ



# ある事例の計算イメージ



- 参加費，2日で3万円の会議
- 宿泊費・親睦会費別途（2万）
- 参加のための現地までの交通費（2万円）
- お土産代等（1万円）
- 指宿枕崎線乗車（480円）
- 約20人が参加
  
- 運賃収入：9,600円
- 経済効果：160万円



# 厳しい環境に置かれた鉄道線の増結

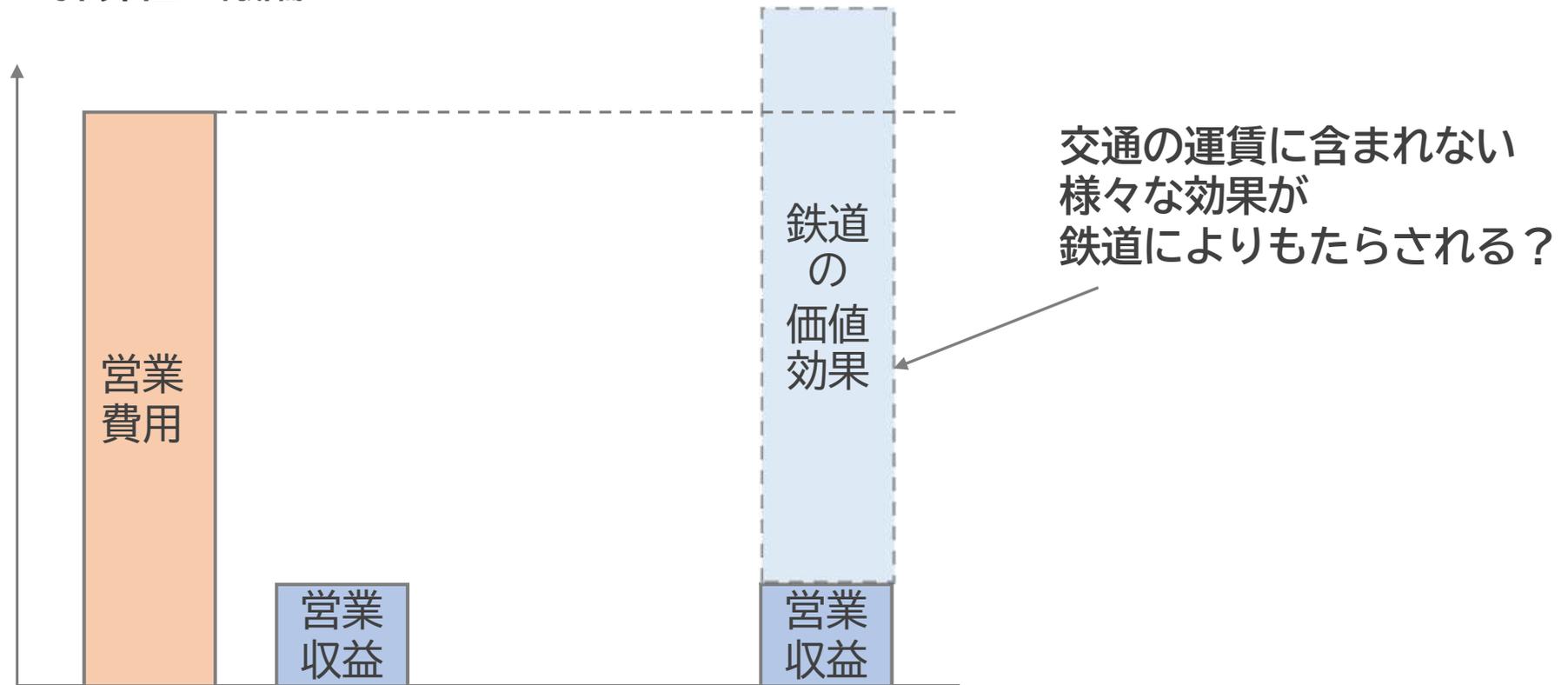


- 「18きつぱ」の際には多くの方が訪れる（ただ、単価は安い）

# 鉄道の採算性と価値の考え方

▼現在よくある  
採算性の議論

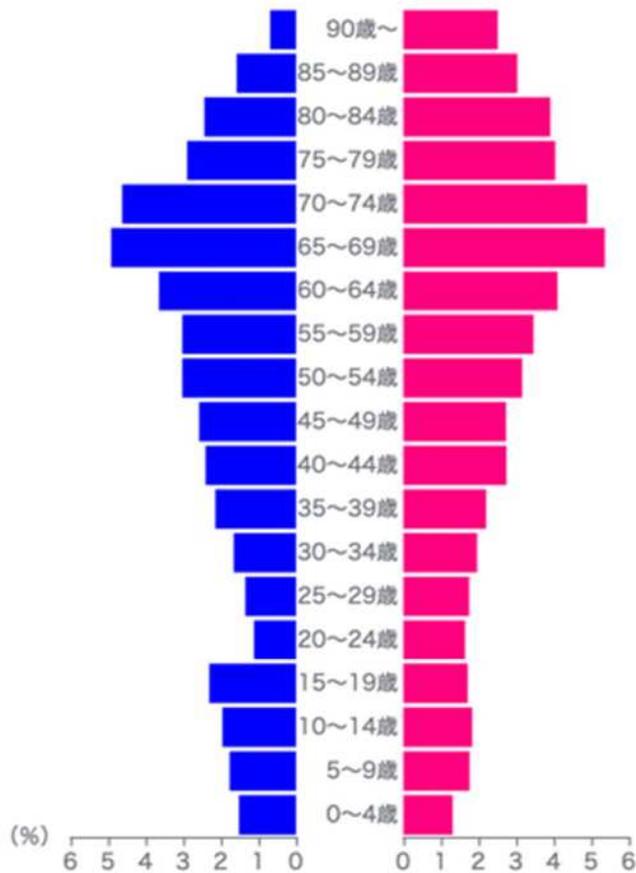
▼今後したい鉄道の価値の議論



# 現在と将来の人口構成（枕崎市）

2020年

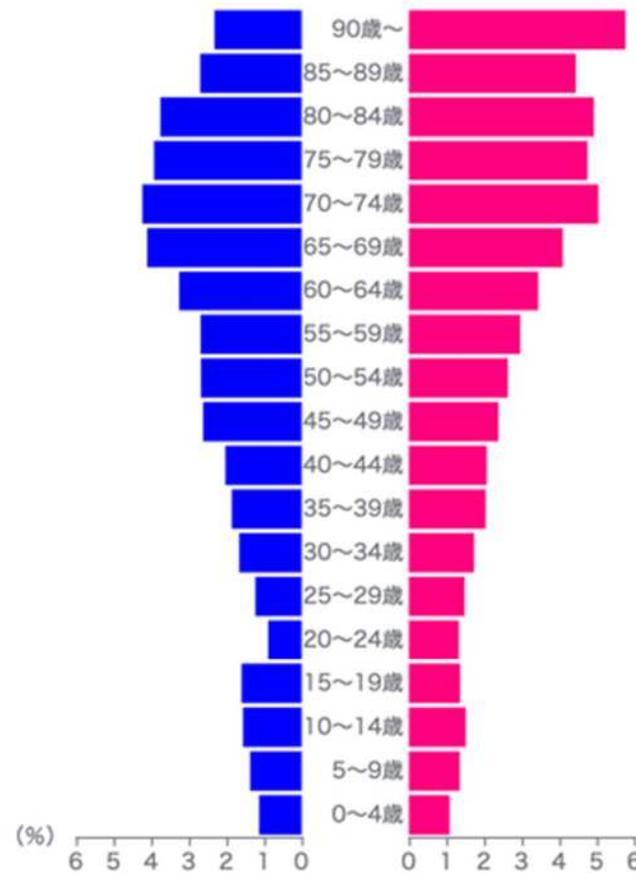
■ 男性 ■ 女性



老年人口（65歳以上）：8,192人（40.89%）  
 生産年齢人口（15歳～64歳）：9,758人（48.71%）  
 年少人口（0歳～14歳）：2,031人（10.14%）

2050年

■ 男性 ■ 女性



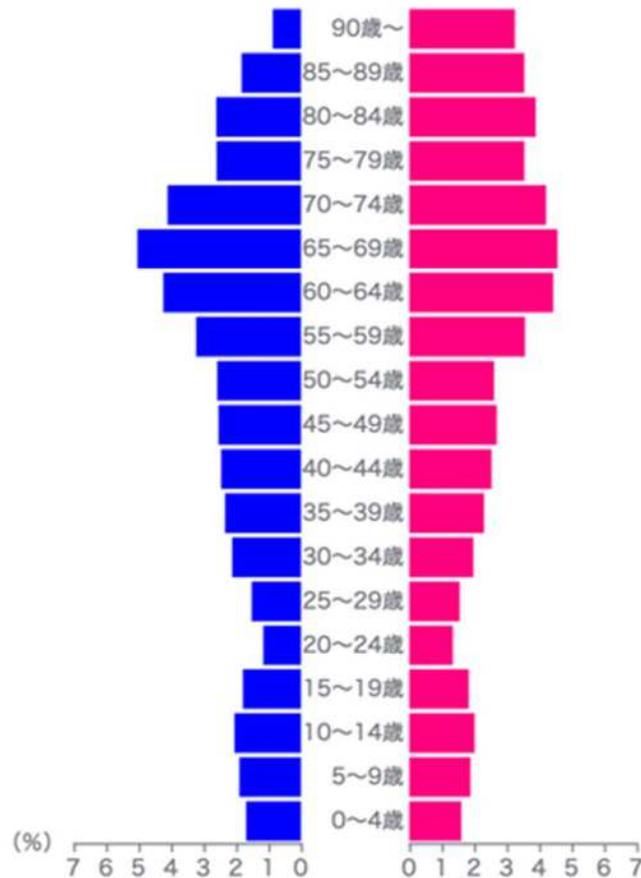
老年人口（65歳以上）：5,430人（50.07%）  
 生産年齢人口（15歳～64歳）：4,546人（41.92%）  
 年少人口（0歳～14歳）：868人（8%）

出典：地域経済分析システム（RESAS）

# 現在と将来の人口構成（南九州市）

2020年

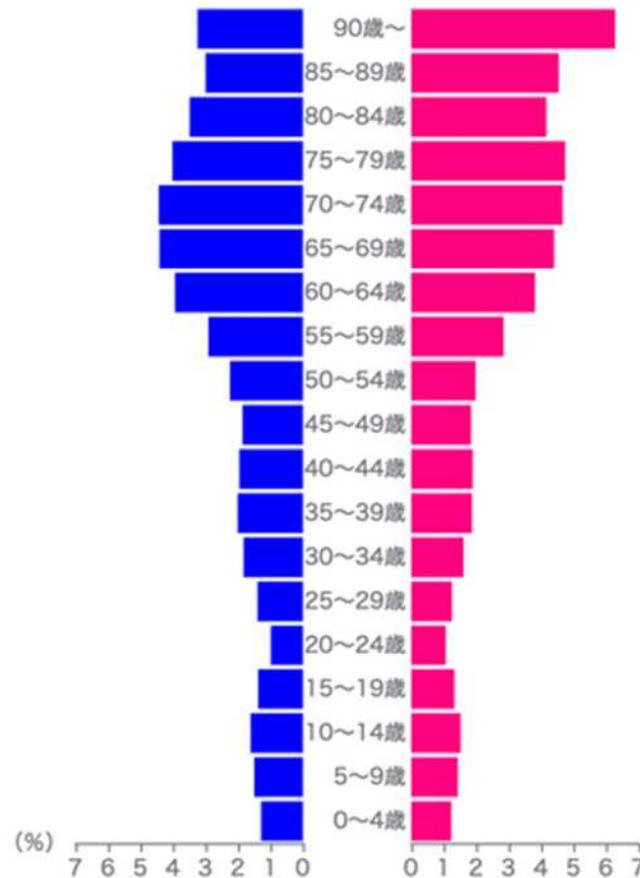
■ 男性 ■ 女性



老年人口（65歳以上）：13,247人（40.05%）  
 生産年齢人口（15歳～64歳）：16,138人（48.78%）  
 年少人口（0歳～14歳）：3,684人（11.14%）

2050年

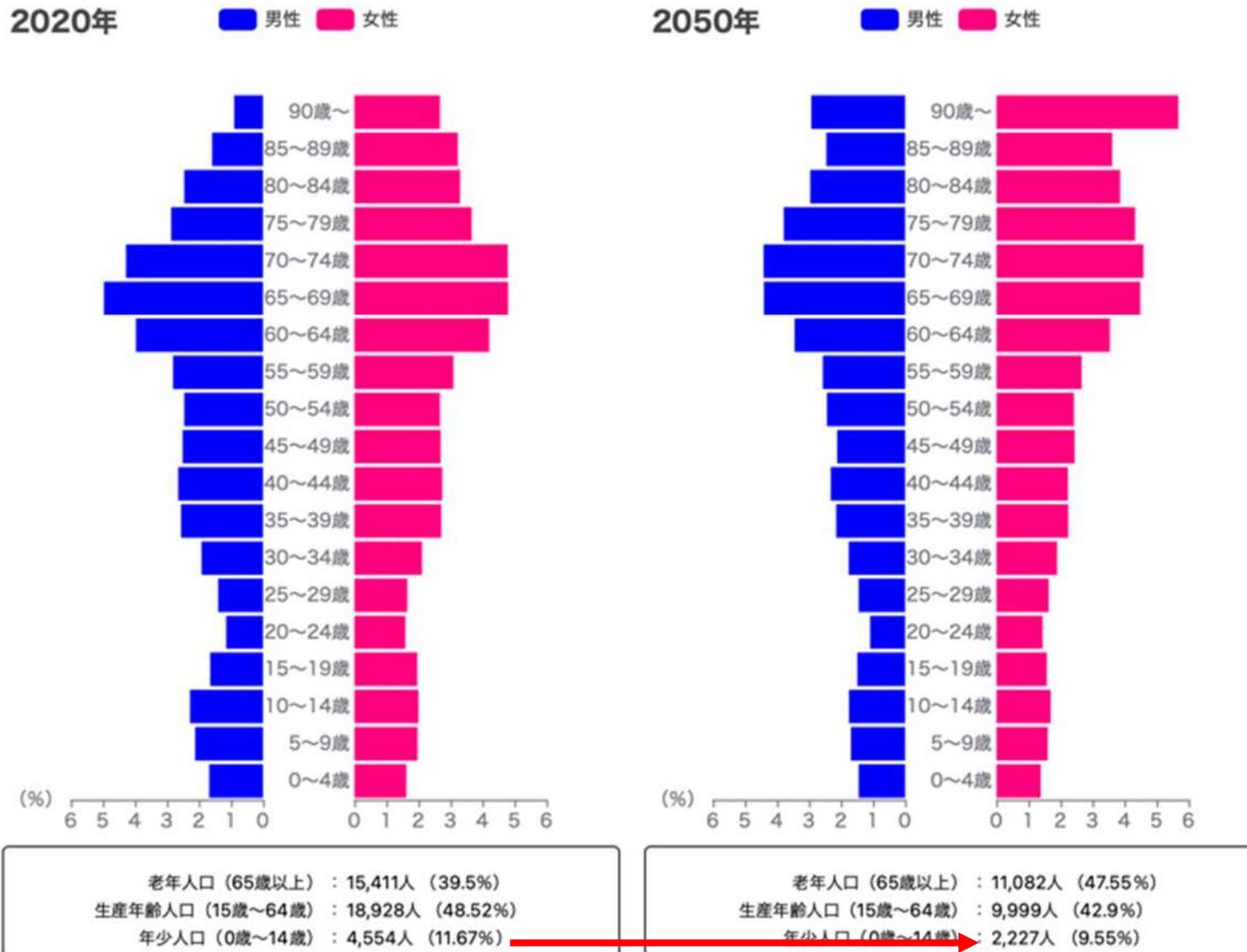
■ 男性 ■ 女性



老年人口（65歳以上）：8,916人（51.4%）  
 生産年齢人口（15歳～64歳）：6,940人（40.01%）  
 年少人口（0歳～14歳）：1,489人（8.58%）

出典：地域経済分析システム（RESAS）

# 現在と将来の人口構成（指宿市）



出典：地域経済分析システム（RESAS）

- 地域の衰退は，地域の中にと  
気づきにくい（変化の量が小さい）
- 鉄道の今後のこと  
＝  
地域の将来を考えること
- 地域が賑わう
  - 人口の減少が抑制される
  - 鉄道利用者の減少が防げる

## 講義での学生への問い (ある専門科目で)

- ある地域で有料道路があります。
- 年間の維持管理費が4億円かかっています。
- 料金収入は2000万円です。
- この道路扱いはどのようにすれば良いですか？  
(建設する必要がありますか？)

# 鉄道の魅力を確認する・増やす検討のアプローチ

- 鉄道利用者を増やす
  - 地域の方の移動を増やす
    - 利用促進
    - 駅舎や駅周辺の土地や施設の活用
  - 地域に来る人の利用を増やす
- 鉄道をきっかけとした来訪者やビジネスを活発化する
  - お土産物が買える仕組み
  - この地域ならではのものに触れる、人に会える

etc...
- **この辺りを皆さんと考えたい！**



## 今日一緒に考えたいこと

- この地域の価値・魅力は何だろうか？  
（人・産業含めて）
- 指宿枕崎線の価値・魅力は何だろうか？
- その上で、指宿枕崎線の  
活用のアイデアは？
- 地域の将来と一緒に考えていきましょう！